

化・乾式化を明記することを検討するとともに、国庫補助金の活用を含む財源確保を図りながら、大規模改修とは別にトイレ改修を実施していきたい。

夢づくり予算創設に伴う課題はしっかりと解決を
市民ネット21 草川 肇

問 市長が掲げている、各学校の裁量で使い方を決められる夢づくり予算の創設にあたっては、教育現場への負担増加の懸念をはじめ、予算編成や監査をどのように行うのかといった解決すべき課題があると考えるが、見解は

答 新たに生じる負担などの課題については、校長会などと協議し、効率的に事務をマネジメントしていきたい。拙速に導入するつもりはなく、しっかりと学校現場の理解、納得を得た上で進めていきたいと考えている。

園児や児童が使用する教材に含まれる化学物質の安全対策強化を
清正会 谷 祐治

問 シックスクールの原因物質となるホルムアルデヒドなどの化学物質が、子どもの健やかな成長に影響を及ぼしてはならない。市は「子どものための化学物質対策ガイドライン」に物品を購入する際の注意事項を定めているが、各校園が責任を持って安全性を確認できる、より具体的な指針を示すべきではないか

※ホルムアルデヒド 発散すると健康に影響を及ぼすと国が指定する揮発性有機化合物のひとつ。教材の使用に国の安全基準は存在しない。

園に周知し、子どもへの安全対策を強化する。

人生会議のさらなる啓発を
湖誠会 寺田 英幸

問 「人生会議」のさらなる啓発を図るため、医療や介護関係者などの多職種が集まり、在宅医療の拡充のために必要なことを考え、企画・実施されている「チーム勢多」の皆さんが定期的に開催している市民啓発講座のような取り組みを充実すべきと考えるが、見解は

答 在宅療養応援講座や多職種の研修会は、平成26年度から7つの保健福祉ブロックで開催しており、今後「人生会議」をテーマとした取り組みを充実していく。

地域の実情に応じた病院機能の見直し検討を
新和会 笠谷 洋佑

問 厚生労働省が公表した「再編・統合の検討が必要とされる424の公立・公的病院のリスト」に本市の2病院が含まれているが、本来、地域医療の再編・統合は、地域の実情に応じて検討すべきである。地域にこれ以上不要な不安を広げないためにも、市の見解を

※人生会議 人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い、共有する取り組み

大津圏域地域医療構想調整会議で議論を行い、当該2病院を再編・統合しない旨を国に報告することで合意させたい。

市民の命と健康を守り安心できる地域医療を
共産党議員団 岸 本典子

問 国は医療費抑制を目的に、公立病院などに13万病床の削減を求めている。今後の大津圏域地域医療構想調整会議での地域医療構想に関する議論には、貧困や窓口負担の拡大などによる受診抑制から地域住民の命と健康をどう守るか、という観点で臨むべきでは

答 同会議の協議事項は病床の機能分化・連携に向けた取り組み、目指すべき医療提供体制の実現の施策と定められているため、別途議論の必要性が生じ、県から申し入れがあれば対応する。

正規保育士の増員で安定した保育が継続できる環境へ
共産党議員団 杉浦 智子

問 公立園の保育士不足の背景には、保育士の正規雇用の抑制がある。年度途中の募集や非正規雇用の保育士の正規化などにより正規雇用の保育士を抜本的に増やし、処遇改善と労働環境の整備も行い、安定した保育を継続できる環境を整えるべきだが、市の見解は

公立園の非正規職員の新規化は考えていないが、安定した保育体制を整備できるように、正規職員の必要数の確保に努める。また、さらなる労働環境の改善や処遇改善を国に要望していく。

介護予防普及啓発活動を通じて地域共生・支え合いの実現を
市民ネット21 田中 知久

問 他市ではひきこもりがちの高齢者男性をフレイル予防事業のサポーターへ導き、地域活動への参加を促す取り組みをされているが、本市でも同様の方々に地域活動への参加を促し、地域共生を担う人材を育成すべきでは

答 介護予防サポーターによるサロンへの参加者を増やす取り組みなどにより高齢者の参加促進を図っており、今後も社会参加に無関心な層に対する参加促進策を通じ、地域の支え合いの強化を図っていく。



サロンにおける活動の様子

産後ケアへの助成制度の導入を
市民ネット21 嘉田 修平

問 産婦にとって出産後1カ月間が身体的、精神的な困難を一番多く抱え、産後鬱も発症しやすい時期といわれるため、出産した施設の専門スタッフなどによる産後ケアを助成する制度を導入すべきと考えるが、市の見解は

※フレイル 健康な状態から介護が必要な状態になるまでの中間の段階